

認知症の人と家族を支える地域づくりの現況調査について

東京都では、「認知症の人と家族が安心して暮らせる地域」について、平成 19 年度から平成 21 年度までの 3 カ年で「東京都認知症対策推進会議 仕組み部会」において検討いたしました。その成果は、「認知症の人と家族を支える地域づくりの手引書」(平成 22 年 3 月)としてまとめられています。

手引書の中では、認知症の人と家族が安心して地域で暮らせるためには、次の 3 つを実現することが必要であり、地域の人的資源・社会資源のネットワークによる「面的」な支援の仕組みをつくる必要があるとされています。

◆地域において、認知症が正しく理解されていること

認知症の人が直面する問題を、多くの人に理解されていることが必要である。

家族が抱えている問題を、多くの人に理解されていることが必要である。

◆友人との交流・外出など、地域活動が継続可能であること

認知症になると、日常生活や社会的活動が制限されやすく、「隔離」された状況に陥る可能性があるため、地域での活動に工夫が必要である。

◆様々な地域資源を、必要に応じて利用可能であること

地域で安心して暮らしていくために、様々な人々や組織による見守りをしていくためのネットワークや利用できる社会資源が形成されることが必要である。

「認知症の人と家族を支える地域づくりの手引書」の発行から 2 年が経過しましたので、あらためて、各区市町村における「面的」な支援の仕組みづくりの現状についてお伺いいたします。

◆提出方法

FAXもしくはメールにてご回答ください。

◆提出期限

平成24年7月9日(月曜日)

◆提出先及び問合せ先

東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課認知症支援係 荒川・大井
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話:03-5320-4277 FAX:03-5388-1395

E-mail: Megumi_Ooi@member.metro.tokyo.jp

区市町村名	部署名
回答者職氏名	
電話番号	FAX番号

◆ 普及啓発について

Q1 認知症の普及啓発について、どのような事業を実施していますか？（複数回答可）

- ☐ア 認知症サポーター養成講座
☐イ 講演会・シンポジウム
☐ウ リーフレット・パンフレット
☐エ 専門職向けの研修会
☐オ 一般住民・介護家族向けの研修会
☐カ その他（具体的に→

）

Q2 上記Q1の普及啓発事業について、具体的内容や工夫していることをご記入ください。

◆ 地域の住民や専門職による地域活動について

Q3 地域の住民や専門職による、認知症の人や家族を対象とした地域活動（例：サロンの運営、サークル活動、認知症サポーター養成講座の開催など）について、貴区市町村で把握している内容・メンバー等について、別紙にご記入ください。

（区市町村で把握している範囲で結構です。欄が足りない場合は別紙をつけてください。）

◆ 地域支援の取組を支援するネットワーク会議について

Q4 地域の関係機関や専門職が参加し、地域の気がかりな人（認知症の人を含む）を見守る地域づくりに向けて、地域の特性に応じたビジョンの設定や課題の抽出を行うネットワーク会議等がありますか？

- ☐ア 高齢者等見守りに関するネットワーク会議
☐イ 在宅療養の推進に関するネットワーク会議
☐ウ 認知症施策に関するネットワーク会議
☐エ その他（具体的に→
☐オ 特になし

）

区市町村名	部署名
-------	-----

Q5 上記Q4で挙げたネットワーク会議等を含めて、認知症の人に対応する地域づくりに関する課題を抽出して、整理・検討する場はありますか？

- ☐ア 上記ネットワーク会議等の中で、認知症の人に特有の課題についても検討している。
- ☐イ 上記ネットワーク会議等の課題別の部会（小委員会など）で認知症の人に特有の課題を検討している。
- ☐ウ 地域ケア会議、小地域ケア会議において取り組んでいる。
- ☐エ その他
（具体的に→)
- ☐オ 特に検討の場は設置していない。

Q6 上記Q5でア・イ・ウ・エのいずれかに当てはまった区市町村にお伺いします。
認知症対策に関する課題を整理・検討する場となるネットワーク会議の構成員はどのようなメンバーですか？

Q7 上記Q5でア・イ・ウ・エのいずれかに当てはまった区市町村にお伺いします。
認知症の人に特有の課題として検討している内容はどのようなものですか？

Q8 上記Q5でオと回答した区市町村にお伺いします。
これから認知症施策に関する課題を検討する場を設けますか？

- ☐ア 今年度中に場を設ける予定である。
- ☐イ 来年度以降に検討したい。
- ☐ウ 未定
- ☐エ その他（具体的に→)

Q9 認知症の人を地域で「面的」に支援するための課題として、認識している課題はありますか？（未検討のものを含む）

- ☐ア ある（具体的に→)
- ☐イ ない

区市町村名

(別紙)地域住民や専門職による地域活動について

地域の住民や専門職による、認知症の人や家族を対象とした地域活動(例:サロンの運営、サークル活動、認知症サポーター養成講座の開催など)について、貴区市町村で把握している内容・メンバー等について、ご記入ください。(区市町村で把握している範囲で結構です。欄が足りない場合は別紙をつけてください。)

名称	内容・目的	実施主体	対象者	活動場所	活動日	区市町村の支援の有無
(記入例)日曜サロン	認知症の人と地域の人が自由に集うことができるスペースを設け、認知症の人や家族が自宅の近くで地域住民とつながれる環境づくりを目指す。	社会福祉法人〇〇会	利用者・利用者家族・近隣住民	〇〇デイサービス	毎月第二日曜日	場・ <input checked="" type="radio"/> 補・派・他 (他の場合→)
						場・補・派・他 (他の場合→)
						場・補・派・他 (他の場合→)
						場・補・派・他 (他の場合→)
						場・補・派・他 (他の場合→)
						場・補・派・他 (他の場合→)

※「区市町村の支援の有無」欄は、支援の内容として当てはまるものについて○を付けてください。(複数回答可)

- ①活動場所の提供している場合…「場」 ②補助金を出している場合…「補」
③職員の派遣(講師派遣など)をしている場合…「派」
④その他の支援をしている場合…「他」に○をし、具体的な内容をカッコ内にご記入ください。